

# 稲グリ新聞

〈発行〉  
早大グリーンクラブOB会  
稲門グリーンクラブ  
〈編集〉  
加藤 晴 生 郎 豊 了  
須原 信 二  
佐々木 川  
〒192-12武蔵村山市大南  
2-26-12 須原信二郎方  
TEL (0425) 65-1839  
(毎月1回発行)

## 海部総理と「コンペキ」を歌います

岸洋子さんのバックコーラス二日です  
二日間に特ステが三つ……皆さんガンバッテ下さい

担当マネ 須原 信二郎(四二)

日程、時間割りは左表の通りです。  
「岸洋子リサイタル」の演奏曲は、

- ① 「愛の讃歌」
- ② 同「チェイサー」(幕開け曲)
- ③ 「希望」

### 稲グリ 活動日程 ('89 後期)

10月17日(火)	東混練習場 18:30~21:00	岸洋子特ステ曲他
21日(土)	特ステ「岸洋子リサイタル」出演① 15:00 楽屋入り、リハーサル 19:00 開演 ゆうぼうと(五反田)	
22日(日)	(予定)10:00 ゆうぼうと入り リハーサル、校友大会曲練習 12:30 までに大隈庭園へ移動 特ステ「早稲田大学・校友大会」出演 (本番)13:20~13:40 大隈庭園特設ステージ 本番終了後、ゆうぼうとへ移動 特ステ「岸洋子リサイタル」出演② 15:00 開演	
24日(火)	東混練習場 18:30~21:00	ニグロ他(ソ連曲)
31日(火)	〃	〃
11月7日(火)	〃	〃
11日(土)	特ステ「神奈川県校友大会」出演(鎌倉)	
14日(火)	東混練習場 18:30~21:00	筑後川(マリオン曲)
《18日(土)	総会に向けて「拡大幹事会」	
21日(火)	東混練習場 18:30~21:00	筑後川
23日(祝)	奉仕園(大) 13:00~17:00	〃(三団合同)
28日(火)	東混練習場 18:30~21:00	ニグロ他
12月3日(日)	「平成元年度・総会」 「第8回グリーンクリスマス」	私学会館
5日(火)	東混練習場 18:30~21:00	ニグロ他
8日(金)	奉仕園(大) 19:00~21:00	筑後川(合同)
12日(火)	マリオン 19:00~21:00	筑後川(合同)
16日(土)	「コーラス・イン・マリオン」出演 稲グリ、桜楓、桜友ジョイント 終了後「1989年度打上げパーティー」 有楽町・朝日ホール	

の二曲です。時間通りに楽屋入りしていただければ、練習時間は十分ありますし、譜持ちでのオンステです。二日目が掛け持ち出演となつて大変ですが、行動の形としては、「ゆうぼうと」を基地にしてリハサルと本番の間に早稲田に出張演奏をするということになります。校友大会では、海部総理が午後一時まで大隈講堂で記念講演をした後、大隈庭園の特設ステージに移動、稲グリと共に応援歌などを歌うということになっていきます。また、今年には昭和四十年卒のホームカミングデーですので、四十年卒の諸兄の大挙してのオンステも望めます。ご多忙の中恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 十一月の特ステ

神奈川県校友大会出演のこと  
日時 十一月十一日(土)  
会場 JR横須賀線鎌倉駅  
(下車徒歩五分)

■集 合 午後四時三〇分 現地  
■服装 稲グリユニフォーム  
■演奏曲 未定  
(校歌、応援歌等?)

この大会には、西原総長の出席が決定している他、海部総理、早稲田OBの政府要人にも出席を要請しているそうです。神奈川県校友大会は、早大校友会の中でも有数の規模と伝統を誇っています。メンバー諸兄には奮ってのご参加を期待しています。(幹事会)

### 十二月三日(日)、午後四時 第8回グリーンクリスマスのこと

年末恒例、家族・稲グリファンへのサービスデー「グリーンクリスマス」、今年も十二月三日(日)に昨年と同じ市ヶ谷の私学会館で、平成元年度「総会」に引き続いて午後四時から開かれます。

### 楽しいプレゼント

待っています



そろそろ子供達、ご夫人方へのプレゼントのご用意などご留意下さい。今年もまた幹事一同、目一杯楽しんでいただけるよう張り切っています。日頃稲グリに出られないOBの方々のお気軽なご参加を心からお待ちしています。(幹事会)

### 十二月の特ステ

コーラス・イン・マリオンは大型混声曲「筑後川」に挑戦  
担当マネ 石川 了(六一)

今年で三回目となる有楽町朝日ホールでの「コーラス・イン・マリオン」の打合せが九月二十九日(金)、マリオン内で桜楓、桜友、稲グリの幹事と朝日会館側も出席して開かれました。今年はお客様と一緒に歌う歌を大幅に増やし、コーラスを心ゆくまで楽しんでいただくことに重点を置いて内容、選曲を詰めていくことになりました。また、三団合同ステージは以前に経験のある「筑後川」を山本健二さん(三一)の指揮で歌います。詳細は本紙次号でお知らせできると思っております。どうぞよろしく願います。

### 出席記録

特ステ	9/12	19	26	30	10/3
T <sub>1</sub>	9	9	11	11	7
T <sub>2</sub>	9	11	12	9	13
B <sub>1</sub>	9	6	12	12	6
B <sub>2</sub>	15	14	15	9	10
	42	40	50	41	36



「ハミダシ情報」NHK名古屋局の柿沼 郭さん(五三)出演の番組。十一月四日(土)午前十一時からの「日本出合い旅」(再)、「岐阜の長良川」―伝統をうつす川―。乞御期待。

「ハミダシ情報」祝御結婚 T.室井 隆さん(五八)が十月二十八日(土)塚田志津子さんと。勿論同期の岩淵さんが一関から駆けつけて世界各国からの祝電を披露する。

1990年稲グリ・訪ソ親善演奏旅行参加メンバー

総勢 97名 | メンバー 65名 同伴者 32名

- | 《T I》    | 《T II》  | 《B I》   | 《B II》   |
|----------|---------|---------|----------|
| ・石原(35)  | ・中岡(12) | ・渡邊(16) | ・榎木(26)  |
| ・坂本(35)  | ・津田(22) | ・玉崎(27) | ・澤登(27)  |
| ・長沢(36)  | ・中野(27) | ・山本(27) | ・大倉(27)  |
| ・藤田(36)  | ・福井(29) | ・志賀(29) | ・永杉(28)  |
| ・奈良原(36) | ・平井(29) | ・徳田(31) | ・森(29)   |
| ・堀内(37)  | ・阿部(30) | ・草間(33) | ・宮地(35)  |
| ・小保(38)  | ・宇野(32) | ・茨木(35) | ・浦野(36)  |
| ・清水(38)  | ・飯澤(32) | ・富永(35) | ・杉浦(37)  |
| ・福田(38)  | ・耕納(37) | ・鹿角(38) | ・辻田(37)  |
| ・額原(42)  | ・関口(37) | ・長岡(38) | ・横尾(37)  |
| ・佐々木(42) | ・加藤(37) | ・児玉(38) | ・西川(38)  |
| ・村上(44)  | ・池野(39) | ・塚越(39) | ・榎本(38)  |
| ・関(44)   | ・正木(42) | ・吉田(42) | ・清水(40)  |
| ・安斎(47)  | ・山本(57) | ・今澤(45) | ・大泊(40)  |
| ・安宅(57)  | 14名     | ・星(47)  | ・佐藤(48)  |
| 15名      |         | ・岩淵(58) | ・篠内(55)  |
|          |         | ・川窪(56) | ・堀部(57)  |
|          |         | 17名     | ・佐々木(59) |
|          |         |         | 19名      |

'89.10.10 駐

・印=家族同伴

《第7回》東西四大学OB合唱連盟演奏会 決算書 平成元年7月23日(日)東京文化会館

収入の部		支出の部	
前期繰越金	500,000	演奏会場費	660,290
チケット売上げ	4,404,000	合同練習場費	61,350
早=1,432,000		(東2、西1)	
慶=1,432,000		指揮者旅費(東西)	50,680
同=716,000		学生等バイト料	82,000
関=716,000		印刷関係費	810,683
広告収入	830,000	(プロ、チケ等)	
借入金(各団10万円)	400,000	旅費補助	400,000
雑収入	41,700	(同関各20万円)	
(弁当代差額等)		著作権料(見込み)	60,000
受取利息	2,274	借入金返済	400,000
		打上げ補助	448,700
		(含ウイスキー代)	
		雑費・マネ費	401,035
		各団割戻し	2,190,000
		早慶=各73万円	
		同関=各36.5万円	
		次期繰越金	613,236
計	6,177,974	計	6,177,974

平成元年10月9日 OB四連マネージャー 清水実(38)、会計 石原祥弘(35)

ソビエト演奏旅行

伊東助教から第一信!

モスクワ会場は「コンセル・バトリ」、レニングラードは「グリーンカ記念合唱堂」を予定

九月七日モスクワ大学留学のためモスクワ入りした伊東一朗さん(四七・早大助教)から稲グリ・ソ連演奏旅行についての第一信が届きました。報告によりますと、九月二十二日、伊東さんと全ソ音楽協会(ソビエト連邦文化庁の機関、チャイコフスキーコンクールなど国際的コンクールを主宰)の副会長ウサノフ氏との第一回会談が行われ、同協会による稲グリ受入れは基本的にOKであることが再確認され、今後、十二月の正式合意書締結に向けて詳細の詰め

を進める段取りとなりました。また、ウサノフ氏より稲グリの特サントリー定演(昨年七月)のテープを聴いたが、「大変良い合唱団である」と稲グリを評価した上、モスクワでの会場を「コンセル・バトリ」(モスクワ音楽院大ホール)にクラシック殿堂で超一流の格式を誇る。N響も演奏を行ったホール、レニングラードは「グリーンカ記念合唱堂」(グリーンカ)と近代ソ連音楽の父を考えているとの話があったという事です。

幹事長 加藤 晴生(三七)

若手メンバーの参加を切望します

訪ソ団参加者応募状況も順調で、マネージャーの安斎さん(四七)によれば九十七名(左表参照)に達していますが、航空機、ホテルの手配の都合上、一〇〇名に達したところで申込を打ち切る方針です。あと十三名、若手を中心とした応募を切望するところです。

幹事会決定事項、追加報告

七月二十六日に行われた幹事会での決定事項に次の二項を追加し

- 一、「稲グリ・友の会(仮称)」設立検討委員会委員長を、清水 実さん(三八)とする。
  - 二、「訪ソ演奏旅行委員会」の組織を次の通りとすること。
- 加藤(三七) 総括  
 額原(四二) 広報、総括補佐  
 安斎(四七) マネージャー  
 石原(三五) 会計  
 清水(三八) 企画  
 小保(三七) 企画、地方、合宿  
 土屋(四四) 演奏  
 山本(五七) 演奏  
 伊東(四七) 駐ソ代表
- 以上

桜楓合唱団第20回定期演奏会

委嘱作品を集めて

女声合唱とコンピュータのために

七五讚 '89年《初演》 詩 矢川澄子 曲 高橋悠治

特別出演(シンセサイザー) 高橋悠治

三つの夜想 '85年 詩 村松英子 曲 三善晃

賛助出演 日本女子大学合唱団

いつも風 流れる川 '86年 詩 宗左近 曲 林光

秋来ぬと(梁塵秘抄より) '88年 曲 柴田南雄

箏/友淵のりえ

指揮/田中信昭  
ピアノ/田中瑤子

11月19日(日)/新宿文化センター

開場 午後1時30分/開演 2時/チケット 1,500円(全席自由)

「ハミダシ情報」館岩村は世界的マラソンランナー・ゴーマン美智子さんの故郷。今日十月十五日(日)第四回「ゴーマン杯マラソン大会」一般男子二〇kmの部に

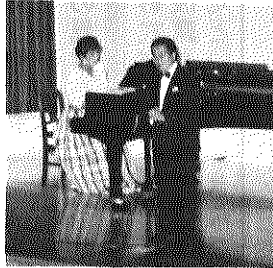
### 村テ 岩ス 館特

## 主催者の献身的なお世話に感動

### 手づくりの音楽会もまた楽し

編集子 佐々木 豊(五九)記

福島県・館岩村演奏会が九月三十日夜、館岩中体育館で盛況裡に行われた。当日は午後一時二十分に浅草を発つてから四時間後に会場に到着。疲れが心配されたが、そこは知力より体力が売り物の稲グリ。「夕べは決算の打上げで、帰宅は今朝の三時でした」と言う篠さん(五四)、「僕なんか四時だよ。ガハハ」と笑う富永さん(三五)、この日をもって文化放送を定年退職という志賀さ



■音楽会の第一部で独唱を披露する福井千恵さん(福井会長三女、写真上)と山本健二さん(三二)。ピアノ伴奏はいずれも佐藤浩子さん。この数日後、ローマのサンタ・チェチリア音楽院へ留学することになった。

ん(二九)、集合時間を間違えて一時間も前から東武線ホームにいた福島さん(五五)など皆元気がだ。今回の指揮者・川元さん(五六)も気負いはなく、列車が禁煙区間を出たと見るや美味そうに煙草をふかす。到着後は、現地の方々の心尽しのおにぎりや葡萄をいただき、間もなくステ練、やがて七時の開演。小学生が走り回ったりでザワついてはいたが、関係者のご尽力か、とにかく

く会場は満員。ピアノの佐藤浩子さん、独唱の福井千恵さん、山本健二さんが親しみやすい曲目を豊かな響きで聴かせる。ついで民謡日本一の君島義信さんと友情出演の猪俣正幸さんが、民謡を一杯披露。少々待ちくたびれた腹癒せ(?)と八時半という普段歌い慣れた時間帯のためか、不安な箇所も勢いで歌い終えるという得意の形に持ち込んだ稲グリは、わざわざ一関から駆けつけた岩淵さん(五八)による海外からの祝電や、田中角栄と浦辺条子の語りが入る「君といつまでも」の演奏で爆笑をさらい、会を盛り上げた。こうして、宿舎の老人福祉センターで夕食兼宴会が始まったのは実に十時少し前。ここでも岩淵さん十八番の「相撲の審判員シリーズ」が部長・助役をはじめ同席された村の幹部諸氏を抱腹絶倒させる一幕も。散会后、メンバー三十名は宴会場に布団を敷き、現役時代の演奏旅行を彷彿とさせる雑魚寝。残り一軒の常習犯と早朝帰宅者用の小部屋とところが、大部屋に夜通し大変な音量で軒をかく人が! 玉さん(三八)

## 公演の御礼

館岩村教育委員会

社会教育主事 星 広政

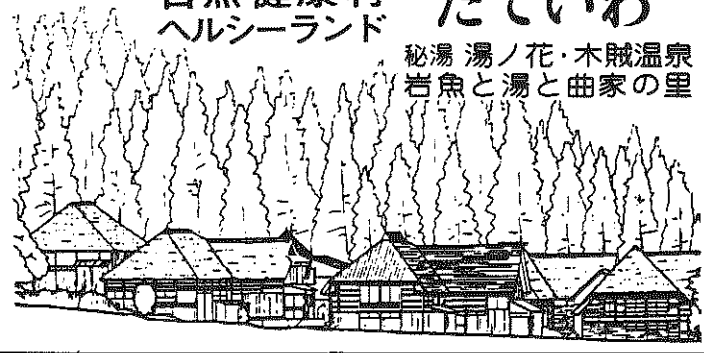
館岩村は、平成元年、村制施行(明治二十二年・一八八九年)満百周年を迎えました。過疎と出稼ぎが続いた山あいの小さな村であった本村も、自然健康村「ヘルシーランド」たていわを宣言し、二十一世紀に向かって、美しい自然を愛し、健康で楽しく働く、活力ある村づくりを進めております。

「文化の風」を吹き込んで下さった稲門グループの方々、これから館岩村も金山紅葉の最も美しい季節を迎えますが、機会がありましたら是非またおいていただきたく存じます。それでは取り急ぎ御礼まで。

## 自然健康村 たていわ

ヘルシーランド

秘湯 湯ノ花・木賊温泉 岩魚と湯と曲家の里



「秋のファミリー音楽会」  
館岩村 秋のファミリー音楽会  
にゆかりがあり、現在大 決定戦で日本一に輝いた 東音楽アカデミーでピ アノを学んでいる佐藤 浩子さん、声楽家の福井 千恵さん、山本健二さん が出演「からたちの花」 「浜千鳥」「波浮の港」 など日本の代表的なメロ クラブ演奏会。早稲田

新聞およ 元(右)から 地(左)版 6日版 伝10月4日 様子を10月 会友の「福 島民報」 福島民報

## 村民が音楽会「満喫」館岩

館岩村の村制施行百周年を記念した「秋のファミリー音楽会」が、館岩中体育館で開かれた。百周年記念実行委員会主催。プログラムは第一部が、ピアノと歌でつづる音楽会。大東音楽アカデミーの佐藤浩子さんのピアノ演奏で福井千恵さん、山本健二さんらが「からたちの花」「赤とんぼ」などを歌った。第二部では「日光山唄」で日本一になった同村出身の君島義信さん(四四)が特別出演し、「日光山唄」「南部木挽歌」を歌い、日本一のノドを披露した。第三部は稲門グループの演奏会。「ソウラン節」から早稲田大学応援歌「紺碧の空」まで日本の歌十二曲を紹介した。会場には村民ら約四百人が訪れて音楽会を楽しんだ。



ファミリー音楽会

## 民謡日本一 君島さんら熱唱

館岩村 百周年 秋のファミリー音楽会

館岩村の村制百周年記念行事、秋のファミリー音楽会。第二部では昨年十一月、日本武道館で開かれた「君といつまでも」で見上げてこらんとした民謡民舞全国大会で優勝し、今年二月にも日光市の日光山唄日本一歌謡曲まで十数曲を披露した。

館岩村の村制百周年記念行事、秋のファミリー音楽会。第二部では昨年十一月、日本武道館で開かれた「君といつまでも」で見上げてこらんとした民謡民舞全国大会で優勝し、今年二月にも日光市の日光山唄日本一歌謡曲まで十数曲を披露した。

但しどの人も星さんなのでご指名はフルネームでどうぞ。

大阪稲グリ  
だよ

### 坪井会長バンザイ!!

B。阿部 良行(四一)

恒例の秋の合宿が、六甲山にある読売テレビ山荘で、九月十六日(土)、十七日(日)に行われた。今回は久しぶりに鎌田担当(三五)が招集した稲グリコンペで三組十二名を練習前に確保してくれただけでもあって何年か振りて二十名を超える参加。豊田幹事長(三五)が職場で親しいという山荘の主人に根回しをし、その日は我々だけの貸し切り。ビール類は田口氏(三〇)の寄付によるサツポロとアサヒで賄い、ウイスキー、ブランドーなど持込み七本。

一〇〇万\$の夜景を眺めながらバルコニーでのバーベキューでは山荘の差入れ二杯を含む十杯の肉が各出っ腹に消えた。練習後、新築の研修室にあるレーザーディスクによるカラオケ大会の異常な盛り上がり。

その席でコンペの表彰式があり、真新しいトロフィーが披露された。坪井会長のプレゼントだという。

かつて欠かしたことの無い稲グリコンペに自宅療養中の身としてはトロフィー参加となつたらしい。この心憎い会長の思い遣りに皆目を熱くした。添えられた手紙には「グリー杯ならぬグリーン杯ではどうかとあったが、やはり坪井杯とした」とのこと。

今回この坪井杯を手にしたのは広島から参加の貝塚氏(三九)と。次回は来年五月。

さてあくる日十月十五日(日)のコンクール曲の練習もたけなわの頃、なんと坪井会長が突然練習場に現われた。未だあごの下の縫合が不完全だとハンカチをあてがいつながら京都から六甲までたつた一人車を飛ばして来たという。半年振りの親分子分の感激の対面となった。「なんだ思ったほどうまくなつてないじゃないか。毒舌も健在。これで会長も完全に復帰だ。子ども達の安心と共に、いまさらながら大阪稲門における坪井

### バルセロナからの手紙

稲グリ新聞編集局御中

前略、今回の御氣遣い、「第七回東西OB四連」のカセットテープを山地さん(編集局注・スペイン観光旅行に行った頼原マネの知人)に託してくださり誠にありがとうございます。代に稲グリ練習などに顔を出させていた折の多くの先輩方のお顔や、同期の連中が懐しく思い出されます。

私、八六年末まで西ドイツに輸入家具、インテリアの「アクタス」の

駐在員として三年と四か月赴任しておりました。稲グリのベニス、清水先輩(四〇)の紹介により入社した会社であり、セカンドの佐藤先輩(四一)も一時この会社に籍をおいていらつしやいました。随分と長い間御無沙汰いたしました。随分と承知がございましたらどうぞ宜しくお願い申し上げます。

一身上の都合で八六年末で「アクタス」を退社したわけですが、ここバルセロナについて早や二年半が過ぎました。この間に語学学校へ通つたり、個人で日本への輸入の手伝い

会長の偉大さを思い知らされた感動の合宿でもあった。(完)

### ☆大阪稲グリ・年内活動

- 十月十五日(日) 関西合唱コンクール出場
- 池田アゼリアホール 一般の部A/8番目/昼前
- 曲「磯部伝シリーズ」から 幼年/ねずみ
- 主催 関西合唱連盟

### 山本健二さん

### 「名曲二〇選」のカセットテープ完成

昨年四月から録音が始まった山本健二さん(三一)の日本と世界の「名曲二〇選」のカセットテープが一年半がかりでこの程完成した。第一巻の「荒城の月」から第五巻の「昇(すばる)」までの一〇〇曲は一緒に口ずさんでもらえる歌が収録されているが、第六巻は日本歌曲を鑑賞してもらえ

- (注)藤野充さん(四〇)が理事に就任!
- 十二月十六日(土) 大阪紳士服組合パーティー
- 「おざしき」
- 大阪ビジネスパーク内 MIDホール
- 十二月二十三日(祝) 「稲グリスマス」
- 玉姫殿(予定)

ようにと「落葉松(小林秀雄)」「松の花(磯部俊)」「だからその海をみない(中田喜直)」の他、郭沫若の亡命の心境を歌った「巢を失った雀(清瀬保二)」など五分から七分の大曲が一〇曲収録されている。

これらのテープの曲は長崎放送の「山本健二・世界の歌」で一年間放送され、またFM東京の「一日本のうた」では、昨年十一月より番組終了の本年九月まで毎月二、三曲放送されたもの。山本さんは中山梯一先生に十六年間、ドイツ歌曲を師事してきたが、歌曲の正統的な歌い方を日本の歌にどのようにならぬか、日本語の情感をどのようにならぬか、心を砕いたという。問合せはポニージャックス事務所・ニュー西北エントラプライズまで。

☎〇三二二三九一〇三〇九

### 訃報

山崎曜子さん(山崎恒二さん(昭和二十六年卒・学生指揮者)夫人)の平成元年九月十九日、急性白血症のため死去。五十二歳。

### OB便り

拝啓 稲グリ新聞編集局殿 朝晩は半袖では肌寒い季節になりました。毎号懐かしく稲グリ新聞を読ませていただいています。懐かしいお名前が毎号紙面を踊っており、二十数年前の学生時代を思い出しております。

小生現在書店を営んでおりますが、以前稲グリ新聞に載せていただいたように、久喜(埼玉県)市議会議員としてけっこう忙しい毎日をお過ごししています。地方自治の難かしさを最近つくづく感じております。稲グリも台湾へ、中国へ連へと国際的活動になつてきました。が、当方も国際感覚だけは身につけたいとフライピン(ドイツ)の大学講師(男性)を約十ヶ月という約束でホームステイしてもらつたりしています。折にふれまたお便りいたします。お元気で活躍お祈りいたします。 敬具

B。田中 喧二(四四)

### 編集後記

今号は、新聞製作作業を二日に亘つて進めたので、比較的余裕があり、十四日の夜は近鉄優勝の瞬間をテレビ観戦しながら、過日、ハワイの加納さん(二四)が一編集局に「と差し入れて下さつたパルボウイスキー」「ワイルドタスキー」に舌鼓を打ちました。ご馳走様でした。

(編集局 E・S)



「ハミダシ情報」祝御結婚 山本さん(三一)のお嬢さん直美さんが十一月十九日(日)山の上ホテル(御茶ノ水)で大湊さんと挙式。十二時披露宴。